

はとやま



No. **146**
2019.11.1発行

9月定例会報告

30年度一般会計決算認定	2
私たちは賛成・反対しました	7
町政を問う！一般質問11議員が質問	8
常任委員会レポート	14

30年度一般会計決算認定

歳入51億5,424万円、歳出50億7,143万円



上熊井集落センター予定地

第3回定例会

令和元年第3回定例会が、9月3日から13日までの11日間にわたり開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの9件、平成30年度決算認定に関するもの8件、平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分に関するもの1件、令和元年度補正予算に関するもの5件、工事請負契約の締結に関するもの3件、工事請負契約の変更契約の締結に関するもの1件、人事案件3件の30議案で、いずれも認定・可決されました。

平成30年度一般会計決算

歳入

問 地方債残高が64億円あるが、危機感を持っている。このまま町債を増やしていくのか。

答 起債が必要な事業があれば、今後も起債をしていく事になる。

問 身の丈に合った起債を考慮できないか。

答 起債しないでやっていきたいが、予算編成の中で、よく検討させてもらう。

歳出

問 民生委員活動費34万5000円とあるが、

委員の構成は何人か。

答 民生委員33人と、主任児童委員2人の35人。

問 報酬はどうか。また、活動費の内訳は。

答 無報酬。児童部会や障害者部会等を設置して、それらに係る費用だ。

問 今、亀井小学校児童は車で送迎し、おしゃもじ山クラブを利用して

いる。おしゃもじ山クラブの分室とした理由は。

答 おしゃもじ山クラブの児童保護者会にお願いして、指導員等も融通を付けてもらった経緯がある。これからも分室としてやってもらう予定だ。

問 見込みの人数は。

答 現在25人。将来は変動するが、30人程度。

問 町内に2つある学童の入所児童数は。

答 7月末現在で、おしゃもじ山クラブ87人、

銀河鉄道90は66人。

問 鳩山団地臨時水質検査の結果は。

答 不明水の検査で、界面活性剤の有無の検査を行った。唐沢川は検出されず、擁壁から検出されないが、浄化槽の管理不足も考えられるため、使用者に適切な管理及び、法定点検の受診等を勧奨する通知を出した。

問 町指定文化財保存事業費の内訳は。

答 貴重な町文化財を後世に伝えるべく、保存継承の為に活動費や、維持管理に係る経費の一部を補助している。支給対象は、お囃子や獅子舞などの無形民俗文化財の3団体

平成30年度一般会計決算（歳出）

民生費	28.4%	14億3,962万円
総務費	26.5%	13億4,454万円
公債費	10.2%	5億1,804万円
教育費	8.2%	4億1,472万円
土木費	8.1%	4億989万円
衛生費	7.1%	3億6,011万円
消防費	5.8%	2億9,356万円
農林水産業費	3.1%	1億5,955万円
議会費	1.7%	8,705万円
その他	0.9%	4,435万円

※その他は、商工費、労働費、諸支出費の合計です。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

平成30年度一般会計決算（歳入）

町税	33.8%	17億4,205万円
地方交付税	23.4%	12億401万円
町債	15.1%	7億7,632万円
国庫支出金	7.7%	3億9,635万円
県支出金	5.9%	3億223万円
地方消費税交付金	4.4%	2億2,684万円
繰越金	2.0%	1億418万円
ゴルフ場利用税交付金	1.7%	8,988万円
諸収入	1.1%	5,838万円
繰入金	0.7%	3,707万円
その他	4.2%	2億1,692万円

※その他は地方譲与税、使用料及び手数料などです。
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

問 一時借入金利子41万円の内容は。
答 金融機関から、利率0・559パーセントで一度だけ行った。金融機関から見積もり合わせをして安い所から借りた。

また、史跡・天然記念物を維持管理する3団体。補助以外に、昨年の台風被害で、国登録有形文化財に指定されている日野岡家住宅長屋門の修繕費。
問 給食センター費収支マイナス51万円。これが続くと、運営資金が心配だが、見通しは。
答 保護者から徴収している給食費は食材のみで、その他は町会計。運営資金の積立て額は、今現在210万円。最低でも、120万円くらいは必要。
問 給食費の値上げに影響は。
答 運営資金がいつまでもつか、状況を見ながらになる。食材の購入経費が上がっている。献立等、栄養士も研究しているが、いずれは、給食費を上げないと食材費が足りない。

問 大変申し訳ない。図面設計上、変わったところはあるか。
答 太陽光発電の設置、敷地内のゲートボール場等について再度検討し、協議を地域の中で進めてきた。

その後は介護給付費準備積立金から利率0・1パーセントでの振替運用だが、本来なら内部団体からの借入れの利子はいらないと考えている。
問 企業誘致の候補場所は何力所あるか。
答 産業誘導エリアとして、6力所ある。
問 上熊井集落センターの設計委託料について、なぜ議員に一度も図面を見せなかったのか。
答 躯体に影響のない範囲で、内容や設備の充実など、地域住民が使いやすい施設にしたいという考えのもと、検討を重ねて来た結果、議会への説明が遅れてしまった。
問 いきなり図面を出されても、議会として判断に迷う。いかがか。
答 大変申し訳ない。図面設計上、変わったところはあるか。
答 太陽光発電の設置、敷地内のゲートボール場等について再度検討し、協議を地域の中で進めてきた。

＜反対討論＞
地方交付税特別分で、町営路線バス分が多くもらえたことは、評価できる。自治会再編では、一般住民に何の説明もなく役員を決めたことに対し、町として民主的な方法を示さなかった。北部地域活性化事業の設計内容な

＜賛成討論＞
厳しい財政運営が続いているが、総合計画の「協働戦略事業」である北部地域活性化事業や鳩山ニュータウン再生・創造事業を着実に推し進めてきた。町民との「約束」である事業であり、計画の完遂は必然性のあるものだ。（日坂）

様々な事情により、補正され、執行されていくが、当初予算を組む段階で、精度の高い内容で組む努力をし、住民の要望がきちんと盛り込まれた予算にしていたきたい。全体的には努力され、適正に執行されている。（野田）

＜反対討論＞
加入者の5割が軽減を受ける。所得100万円以下の世帯が多い中で、非常に高い保険となっている。均等割りの1人当たりの額は、近隣で一番高くなっている。基金を使い常設的に免除する制度など作るべき。（根岸）

国民健康保険事業
問 不納欠損額減少の理由は。
答 平成26年度から、賦課及び徴収業務を町民課から税務課に移管した。町民課では少人数で、滞納整理業務に手が回らなかった事が原因。税務課では、積極的に不納欠損処理を行っている。
※不納欠損：納税義務が消滅した税のこと

とは、議会に公表されたことがない。その他必要なところに必要な税金が使われていない。（根岸）

平成30年度
特別会計決算

介護保険事業

問 介護保険料の不納欠損額77万円。何人か。

答 20人。

問 地域密着型介護が、増えたり減ったりしているが、予測できないか。

答 制度改正により、定員18人以下の事業所が地域密着型サービスへ移行された。これにより利用者が増加したため、補正予算を組んだ。町としてなかなか読みきれない。

問 介護予防生活支援サービス給付費は変動が多いが、事情を伺う。

答 制度改正により、保険給付費から移行されたために、昨年度比較で減少した。引き続き利用者が利用しやすいように、取り組んでいきたい。

〈反対討論〉

基金の活用がされていない。現場からの意見をもっと出すべき。地域密着型介護施設の増設推進や住宅改修、包括支援センターの事業充実を図る必要がある。(根岸)

平成30年度特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の状況

名 称	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	21億5,770万円	20億3,091万円	1億2,679万円
後期高齢者医療事業	2億2,436万円	2億2,372万円	64万円
介護保険事業	11億9,314万円	11億1,836万円	7,478万円
今宿東土地区画整理事業	1億3,407万円	1億3,247万円	159万円
農業集落排水事業	3,735万円	3,718万円	17万円
浄化槽設置管理事業	2,300万円	2,099万円	201万円
水道事業(損益収支※税抜き)	2億6,988万円	2億6,517万円	471万円
水道事業(資本的収支)	2,361万円	6,115万円	※1 △3,754万円

※ 金額は万円未満四捨五入

※1 施設の整備などや拡充のための資本的収入及び支出は3,754の不足額が生じたため、過年度からの留保資金などで補てんしました。

条例

会計年度任用職員の報酬等に関する条例制定

法改正により、一般職非常勤職員が会計年度任用職員となります。

勤務時間により、フルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員になり、フルタイム職員には期末手当等が支給されます。

問 どの程度、人件費が増えると想定されるか。

答 概算で1200万円。

問 職員人数に入るのか。

答 フルタイム職員は職員の人数に入る。

問 経費削減の流れに逆行するような条例制定となる。対応をどのように考えているか。

答 町の裁量の中で、できる限り費用の増加が少なくなるよう運用し、今後も改正等を考える。

問 時給を上げる必要があるのではないか。

答 最低賃金よりは、上げるよう検討している。

印鑑条例の一部改正

〈賛成討論〉

印鑑登録原票から性別記載をなくしたことを高く評価する。(野田)

毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業施行規程の一部改正

清算金を分割徴収する場合、利率を年6パーセントから1パーセントに変更します。

問 改正の理由・経緯は。

答 121年ぶりに債権関係の民法が一部改正された。

改正民法の施行前だが、低金利が続く社会経済情勢や、事業の長期化による地権者の生活の変化等を考慮して、地権者に負担の少ない年1パーセントの利率とした。

〈賛成討論〉

市中金利と比べて、年6パーセントの金利は高すぎる。(中山)

幼児教育・保育の無償化に関する条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例

問 今までは、保育所運営について10分の7を町と県と国で負担し、10分の3は保護者負担。町独自に補填もしていたが、今後は、交付税措置がなれ、実質、町の負担はなくなるのか。

答 3歳から5歳が無償化になり、保護者負担分が国、県から交付金として新たに負担される。

問 町独自にゼロ歳から2歳までの保育の無償化あるいは軽減など、子育て支援策を考えないか。

答 子ども・子育て会議等に相談し、周辺自治体や、国の状況等を確認しながら検討していきたい。

鳩山幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

問 現在、各学年16人、17人だが、無償化による

児童数減少を防ぎ、幼稚園を持続させる取り組みを考えているか。

答 公立幼稚園を選ぶのは、保育料が安いことが大きな要因。保育料が無償化になる私立幼稚園入園を考える保護者が、増大することも予測される。職員の研修機会を十分に確保し、保育の質を上げ、できるだけ鳩山幼稚園に入園していただくよう努力していきたい。

問 3年保育の実施や預かり保育の実質無料化、一時保育もできるなど取り組みを進め、アピールしていただきたい。持続可能な人数は、1学年何人と考えるか。

答 今現在の人数ぐらいと考える。



保育料が無償になった鳩山幼稚園

**令和元年度
一般会計補正予算**

問 子ども・子育て臨時交付金1100万円の交付時期が3月。支出に間に合わないのではないかと。 **答** 10月から幼児教育無償化が実施される。令和元年度は、消費税率引き上げに伴う地方増収がわずかなので、地方負担分として交付される。交付金の性格上、仕方がない。 **問** 地方交付税が2781万円増えた理由は何か。 **答** 基準財政需要額から基準財政収入額を引いたものが交付される。法人町民税・個人町民税が減少し、収入が減った。一方高齢者保健福祉費などが増加し、歳出が増えたので交付額が増えた。

の雨など、状況によって中に浸水するようだ。 **問** プレミアム付商品券事業費補助金1126万円は、いつ来るのか。 **答** 第1回概算払いが、9月末に180万円。その後、販売状況報告を経て、第2回概算払いが12月。事業終了後に実績報告に基づき、最終的な精算となる。 **問** 県補助金・地域公共交通活性化促進事業補助金300万円は何か。 **答** 町営路線バス及び町内循環バスを再編するため、停留所標識更新経費200万円を見込んでいた。その後、4月に公表された県補助金要領において、大橋バス・スターミナルへの待合所・運転手休憩所の整備経費及び交通マップ作成経費も、対象となることがわかった。当初予算と合わせて500万円の補助となる。

**泉井集落センター
改築工事**

工事請負契約の締結

問 第1期泉井地区の活性化取組方針では総事業費1億6200万円。実際の総事業費はいくらか。 **答** 平成29・30年度に執行した分と本年度の予算額を含め、総事業費は2億4382万円。 **問** 一般会計からも支出するの。 **答** 全額を地元対策費で充当する。 **問** 設計価格を下回った予算の用途は。 **答** 仮契約金額との差額は3520万円。同センターの什器・備品を購入。入札11社、そのうち6社が辞退。理由は何か。 **答** 一般的な考えだが、請負金額が見合っていない、工事期間内では施工が困難、手持ち工事量が多い、工事に必要な人員が確保できないこと。 **問** 今も埋蔵文化財の調査をし、駐車場は道の反対側にも作る予定。工期

は間に合うのか。 **答** 地域の集会施設がなくなる期間が生じる。泉井さらさら祭りの終了後すぐに解体に入り、年度末までに完了させる。 **反対討論** 当初計画1億円に対し不測の追加で設計価格は2億2千万円と倍以上に膨れ上がっている。予算を管理し、超過しないための努力が見えない。この姿勢では、地元対策費はすぐに底をつき、借金を重ねるだけだ。(大質)

**上熊井集落センター
整備工事**

履行期限 令和2年7月31日 **請負金額** 1億3332万円 **問** 上熊井地区の活性化取組方針には総事業費1億6200万円と明記されている。実際の総事業費はいくらか。 **答** 1億7925万円。 **問** 設計額あるいは当初予定額の価格差は、地域要望が出れば他に回す

ことができるのか。 **答** 地元対策費を活用して整備する施設だが、全体の工事経費が計画を上回っている。経費の圧縮を第一に考え、地域との話し合いをする。 **町道第2859号線
外歩道整備工事** **履行期限** 令和2年3月27日 **請負金額** 6220万円 **問** これだけ高くなったのは、材料費、人件費等が値上がりしたからか。 **答** 人件費等の増加分も



一つの要因。 **工事請負契約の変更
町道第1号線道路
改良工事(第一工区)** **履行期限** 令和元年9月30日 **請負金額(変更後)** 1億1320万円 **問** さらに変更が出る可能性はあるのか。 **答** 今回が最終となる。 **問** 今年度発注の第一工区総予算はいくらか。 **答** 1億2000万円。今年度の計上予算を下回っている。

公平委員会委員に

小峰伊佐男氏

公平委員会委員の任期満了に伴い、小峰伊佐男氏（赤沼在住）の選任に同意しました。



教育委員会委員に

小峰洋氏

教育委員会委員の任期満了に伴い、小峰洋氏（熊井在住）の再任に同意しました。



教育委員会委員に

伊藤絵里子氏

教育委員会委員に欠員が生じたことに伴い、伊藤絵里子氏（赤沼在住）の任命に同意しました。



第1回臨時会報告

7月12日に臨時会が開催されました。

工事請負契約の変更

町道第1号線道路改良工事（第二工区）

〈変更内容〉

- ・履行期限を令和元年9月30日までに延長。
- ・2239万円を追加し、請負金額を1億1260万円とす。

〈理由〉

工事による通行止めを極力減らす施工方法や地盤改良の工法により、作業日数がかかった。

現場から出る建設発生土を泉井交流体験エリア造成工事に、再利用する予定だったが、粘性土で流用できない。そのため残土処分に2128万円かかる。

問 近隣住民からの苦情はどのようか。

答 道路のそばが走りにくい、夜間に反射材

がまぶしい、片側交互交通時に大型車が通りにくい、走行時に車が汚れたなどの苦情がある。

問 新沼窯跡から大変近く、遺跡出土等の影響は出たのか。

答 工事区間は、天沼遺跡に該当する。平成30年10月に試掘調査を実施した。古代の竪穴住居や中近世の土抗、溝などが発見された。

盛り土により文化財保護が可能な歩道部分は、文化財担当職員が工事の立ち合い、掘削する道路本体部分は、発掘調査を行うことで合意。

発掘調査により掘立柱建物1棟、土抗6基、溝11条などを発見し、須臾器や瓦、陶磁器、鉄製品、板碑などが出土した。その間は工事ができなかったが、影響を最小限に抑えた。

問 残土はどこに搬出するのか。

答 日高市の土質改良プラントに搬出している。

問 土質検査をしていれば、流用できない事は予想できたのでは。

答 発生土流用の土質調査は、80センチメートルの路床の土を採取。そのため工事着手後の調査となる。強い粘性土で、想定以上の土だった。

問 電話線の移設が遅れたのはどういふことか。

答 移転先の地権者との調整に手間取った。

問 道路改良工事と水道工事を同じ業者で、できなかったのか。

答 水道管布設工事は、当初から想定される工事道路工事の関連工事として、道路工事施工業者に随意契約で発注することは、法令の規定によりできなかった。

問 1号線の水道工事予定はいつだったか。

答 経費を考え、同時にやるよう予定を組んだ。

問 今後の工事の中で、土質に関して同じような箇所が発生すると想定されるか。

答 今後の工事において、判定基準の材料になる。

問 1号線整備事業（全工区）の、現時点での概算

総額は。

答 6億1000万円。第一工区予算額は1億3400円となる。

問 契約変更の前に、既に工事を進めている。議会に対して説明が必要ではなかったか。

答 選挙等があり、説明ができなかった。

〈反対討論〉

3月議会で工期の変更、今回また工期の延長と2239万円もの金額の追加との事。9月議会でも、また変更の可能性もあり。不測の事態ばかりで見通しが甘い。行き当たりばったりの変更契約には反対する。（大賀）



残土処分予定超過の町道第1号線



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

令和元年第3回定例会 議案		議員氏名										審議 結果			
		関根 清隆	石井 徹	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	小川 唯一	野田 小百合	根岸 富一郎		大賀 広史	石井 計次	
町 長 提 出	会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	消費税法及び地方税法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	税条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	議	原案可決	
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	印鑑条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	議	原案可決	
	鳩山幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認 定	
	平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度一般会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	令和元年度水道事業会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	工事請負契約の締結(泉井集落センター改築工事)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	工事請負契約の締結(上熊井集落センター整備工事)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	工事請負契約の締結(町道第2859号線外歩道整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	工事請負契約の変更契約の締結(町道第1号線道路改良工事(第一工区))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意	
	令和元年第1回臨時会 議案														
	町長 提出	工事請負契約の変更契約の締結(町道第1号線道路改良工事(第一工区))	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

松浪健一郎 議員

1. 町が考える鳩山町の魅力について何う。その魅力で人口増につなげられないか

関根清隆 議員

1. 空き家対策について
2. 泉井交流体験施設建設について
3. 川越都市圏まちづくり協議会加入について

大賀広史 議員

1. 教育行政（スマホのトラブルと不登校など）
2. 地域公共交通（再編実施計画）
3. 公共施設の管理見直しと町有財産の利活用
4. 町の財政（借入と返済）

小川唯一 議員

1. 職員の勤務実態について
2. 健康長寿の取り組みについて
3. 町の人口と世帯数
4. 道徳教育

日坂和久 議員

1. 学校の長期休暇中、学童保育で昼食提供ができないか
2. 通学路の安全点検と安全な通学環境の整備について（子ども・子育て支援の面から何う）
3. 介護する不安と受ける不安について
4. 水道事業について

中山明美 議員

1. ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の活用
2. 早期発見のために
3. AEDについて

野田小百合 議員

1. ごみ行政について
2. 鳩山の自然と農業を守るために
3. 太陽光発電施設について

森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. はーとんスクエアについて

小鷹房義 議員

1. 南比企業跡群の国指定史跡化事業について
2. 町内の鳥獣被害対策について
3. 交通安全対策について
4. 入西赤沼線の延伸について

石井 徹 議員

1. 北部地域の上熊井農産物直売施設並びに泉井交流体験エリアの指定管理者の選定について
2. 財政健全化集中基本指針の中から

根岸富一郎 議員

1. 国民健康保険税の引き下げについて
2. 農業振興について（太陽光と農業振興は、山林や農地等の維持管理費用とのかかわりがあるので質問します）

町の活性化

鳩山町の魅力は

いちばんの魅力は町民の笑顔



松浪健一郎 議員

問 鳩山町の魅力について何う。その魅力で人口増につなげられないか。

答 1つ目は都心から1時間強の心とむ里山。2つ目は文化、芸術、ボランティア活動が活発で、町民の英知と行動力がある事。3つ目は地震災害の少ない、比較的安定している地盤。4つ目は保育園から高校大学まで全ての学術研究機関がある事。5つ目は南比企業跡群と呼ばれる歴史と文化がある事。

問 自治体として生き残っていくために必要な魅力は。

答 ある程度の人口減少は町、国でも想定範囲内だ。生き残っていくためには、人材を育て活かせ、誰もが活躍する地域社会を作る事に、重点を置いていく。人口減少しても持続可能なまちづくりを行う施策は、具体的に健康寿命を延ばして、生涯現役で過ごせるまちづくり、地域の担い手の掘り起こしと育成、活用等が必要と考える。また、



鳩山町ホームページはこちら

町の魅力となる有望な素材を発見するには、住んでいると当たり前でも、外から見ると魅力的に映る素材を発見したり、課題となつている面を、逆転の発想で魅力に変えたり、ゼロの状態から新しい魅力を作り出す。これらの魅力を発信出来るようにしたい。

問 魅力を伝えるPR活動の方法と、年間予算は。

答 PRはホームページが広報になる。予算は補助金が付けば。

問 泉井の企業跡群の国指定化を急ぎ、文化庁から補助金を獲得し、長野県將軍塚遺跡の様な、素晴らしいガイダンス施設を作り、町の魅力につなげてみてはどうか。

答 今後検討したい。



関根 清隆 議員

空き家対策

空家対策措置法、5年経過したが

今後、特定空家認定の条例が必要

問 空き家対策 空家対策の特別措置法が制定されて5年になるが、取り組み経緯は。

答 平成28年に条例により空家等対策協議会を設置。平成29年に鳩山町空家等対策計画作成の着手。庁内検討委員会を設置し、平成31年パブリック・コメントを行い、当計画書がこの3月に出来た。

問 未だに成果があがっていないが、なぜ迅速に対応できないのか。

答 県内34市町と同じ進捗で進めており、遅い訳ではない。今後、特定空家認定の条例が必要。空き家の所有者には、空き家管理のチラシを郵送し意識を高めている。

問 空き家解体に助成金を出す提案をしたい。

答 まずは国の助成制度を慎重に検討してゆく。

問 昨年提案した大手住宅情報サイト連携は。

答 アットホーム(株)と連携し、空家バンクへの連携を整備している。

問 泉井体験交流施設の建設 当事業は計画時予算

約8億円で半分の約4億円を補助金で賄うはずが、1億3千万円強しかもらえないこととなった。不足分はどうするのか。

答 農林水産省との協議で、児童館等が対象外となり、減額となった。町の重要施策であり、令和2年度に完了する。不足分の約5億9千万円は町債で資金調達する。

サンテ坂戸の利用料金

問 プールを利用した時、川越まちづくり協議会に鳩山町が未加入のため、周辺他市町より利用料が高いとのこと。なぜ加入しないのか。

答 内部で検討を始めており、今後調査研究していききたい。



サンテ坂戸プール利用券券売機と注意書き。鳩山町は？



大賀 広史 議員

町の財政

毎年の借入額と返済額の状況は

返済より借入が上回っている

教育行政

問 小中学生のスマホトラブルが問題化している。所持率の統計をとり、対策を進めるべきでは。

答 現在中学3年生で約8割。提案の所持率の調査とスマホアンケートの実施を検討していく。

問 町内の不登校の数が県平均よりも多い。いじめが原因の可能性があるのであるか。

答 不登校は児童・生徒の命に関わる問題でもあり、登校を促すのが大変難しい状況だ。

地域公共交通

問 町営路線バスの越生駅までの延伸等は。

答 再編実施計画の改定により、当初より遅れているが、来年1月から越生駅へ延伸する。同時期に町内循環バスも1とんスクエアに乗り入れ等、再編する予定だ。

公共施設の管理見直し

問 公共施設の縮減は、将来の町民負担を軽減していくために必要だが、入浴施設の休止等、総合福祉センターの利用価値が減少している。廃止や売却の検討をしないのか。

答 町民検討委員会でも意見が出たが、担当課では、運営形態の見直しという方向だ。

町の財政

問 町長に聞くが、北部地域活性化事業は当初予算との乖離が大きく、補助金の見込みも外れて、借金に頼りすぎだ。返済よりも借入が多ければ、借金が減るはずではないか。

答 自主財源のなかでやりくりすることが基本ではあるが、町で進めなければならぬ事業もある。人口減少を食い止めながら、町の財政を守っていききたい。



乗客を待つ北部バス

小川 唯一 議員



道徳教育

学んで欲しいことは

命の大切さ、思いやりの心

職員勤務実態

問 有給休暇の取得率は平成30年度の取得率33・7%で夏季休暇の取得率は93・6%であった。

答 日本の有給休暇の取得率は50%と言われている。休みがとりづらいのではない。

問 休暇は活力ある職場の形成にも資するので、計画的に取得出来るようさらに周知徹底する。

答 夏季休暇を6月から9月までの4か月間でなく、期間を延ばす考えはない。

問 取得率の高い夏季休暇を延長すると、取得率の低い年次有給休暇の更なる減少につながるおそれがある。

健康長寿

問 他の市町村と取り組みの違いは。

答 栄養、運動、社会参加を健康づくりの3本柱とした鳩山モデルを構築。一人ひとりの健康づくりが鳩山町の健康長寿を支えている。

問 健康マイレージ事業の参加者の増減は。

答 平成30年度332人、令和元年9月現在354人。端末を2台増設した。

問 地域力フェスのこれらの問題点は何か。

答 ①体力の低下のため会場までの通いが課題

②ボランティア後継者の育成

③社会参加の理解を深めるための情報提供や啓発活動の大切さ。

道徳教育

問 学んで欲しいことは。

答 命の大切さ、助け合いや思いやりの心を学んで欲しい。

問 社会の決まりやマナーを守る教育が大切と考えるが。

答 若い人達にぜひ身に着けて欲しい心構えだと考えている。教育全体の中で指導を実施している。



道徳の教科書

通学路安全対策

通学路の速度低減に早急な対策を

関係各課で連携し対策協議をする

日坂 和久 議員



問 各学校の安全点検で、車のスピード超過が多い危険箇所が絞れた。通学時間帯に75キロのスピード走行もあるようだ。早期の対策を求めます。

答 街頭指導で自動車運転者へマナー遵守の取り組みを行っている。

問 通学路危険箇所では、スピード低減指導の取り組みをしていないのでは。

答 危険箇所の要所や危険な交差点で実施する。

問 クッションドラムの活用で、速度低減を促してはどうか。

答 交通規制が伴う場合、警察との協議が必要だ。

問 学校給食センター改築は国の交付金を財源とした。学童保育への昼食提供は法的に問題ないか。

答 県教育局に確認したところ、軽微な使用で給食センター非稼働日であれば問題はない。

問 学校長期休業中、給食センターを活用して、学童保育に昼食提供ができるか。

答 課題は調理員と光熱水費等の予算確保だ。

問 介護未経験者の最大の不安は「経済的負担の不安」だ。介護度別・サービスマン・負担割合によっても異なるが、「どれ位の費用が必要か」分かる資料を作成できないか。

答 相談者のみだが、不安軽減のため、ガイドブックを作成し説明する。

問 水道事業留保金6・8億円の取り崩し予定は。

答 老朽管更新や重郎橋水管橋交換工事(5000万円)などに充てる。

問 有収水量や留保金が減る。健全な水道事業維持のため、適正な水道料金はいくらと考えるか。

答 現在、1m³143円だが、約15%の値上げが必要だ。



速度低減を促すため貸し出し可搬型ハンパの設置を推進

中山 明美 議員



民間活力の活用

SIBの導入を検討してはどうか

魅力的ではあると考える

問 SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)とは、社会的課題の解決のため、民間資金を呼び込み、成果報酬型の委託事業を実施するための新たな投資の仕組み。

問 鳩山町はどのように評価しているか。

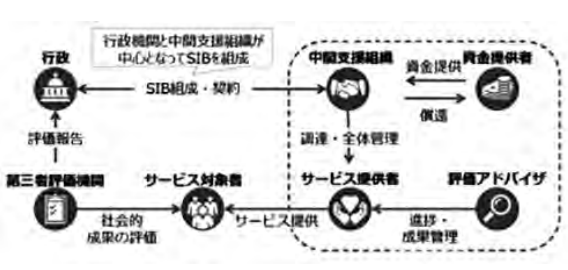
答 日本での事例がまだ少なく、海外の事例などを参考に手探りでやっているというのが現状。

問 メリットは。

答 民間資金を活用するため、貴重な政策経費を使わずに、先進的かつ効果的な事業に取り組むことが可能になる。事業成果が上がらなければ、行政は投資家ヘリターンを支払う必要がないため、少ないリスクで財政支援の削減と、効果的な公共サービスの提供が可能になる。複数年度にわたる効果検証を前提とするため、単年度周期に拘束されず、効果的な事業実施が可能になる。

問 デメリットは。

答 客観的な達成指標が必要。どのような基準で



SIBの具体的な組成推進体制のイメージ図

選定するか。債務負担ができるのか。町村が行う数百万程度の事業内容や事業規模に対して、民間資金が集まるのか。実際に事業を行うと、当初には想定できなかった課題が出てくると考えられる。

問 財政が厳しくてもアイデア次第で福祉の必要な部分を行えるSIBの導入を検討してほしい。

答 財政的な面だけでなく先進的な取り組みを行えるという点で、大変魅力的なものかと思っている。今後も他の事例も調べ、検討は続けたい。

野田小百合 議員



ごみ行政

プラごみ削減の取り組みを

まずは職員の実践からすすめる

問 ポイ捨てをなくし、大量にプラスチックを使う暮らしを見直し、プラスチックごみの削減に取り組まないか。

答 町としても、プラスチック製品の使用について、どこまでの対応が可能か、研究していきたい。

問 町主催の集まりの際に、ペットボトル飲料の配付を止めないか。レジ袋でなく、エコバッグの利用をより積極的にすすめないか。

答 まずは職員自らの実践から取り組んでいく。

問 ごみの戸別収集に関して福祉と連携、その後の検討状況は。

答 産業環境課と長寿福祉課で協議した。当面は、福祉施策として対応する。「高齢者福祉総合計画」策定に伴うアンケート調査で、「独自設問」を設定する予定。

太陽光発電施設

問 新たに事業者からの相談や申請はあるのか。

答 届出件数は平成30年度5件、今年度現在までに9件。相談件数は今年

水道直結タイプのウォーターサーバー(亀岡市役所)



度8月現在40件。

問 新たに相談を受けている場所は。

答 亀井地区22件、今宿地区24件。(両地区にまたがり、重複したのものもある)

問 説明会が開催される場合には、どの範囲の人が参加するのか。

答 事業計画地の区長・自治会長や役員の意見を聞き、各地区の意見を尊重する。

問 生態特区制度の研究をしないか。条例化と併せて、地権者が土地を手放さなくてもよい仕組みを作っていないか。

答 調べてみる。

北部地域活性化

想定している事業予算の規模は

現時点で約37億2000万円



森 利夫 議員

問 町営路線バス北部線の越生駅東口までの延伸が遅れている。原因と今後の予定は。

答 大橋バスターミナルの整備が補助金等の理由で遅れた。延伸はバス停等を新設して、令和2年1月から開始する。

問 町道495号線拡幅改修工事の予定は。

答 農産物直売施設から辻川に向けて県道までを、本年度発注する。

問 北部地域活性化事業の最終目的はなにか。

答 地域コミュニティを活性化して、集落機能を維持できる地域として、あり続ける事が到達点。

問 地域の活性化に向けて、計画している施策は。

答 具体的には言えないが、地域文化の継承、地域資源を活用した交流人口の増加をはかる。

問 人口増や活性化を進めるために、約150坪の農地付き住宅の開発を提案するが、いかがか。

答 基本的には開発等が抑制されている地域だが、都市計画法34条11号区域

指定で500平方メートルまでの宅地化が可能だ。その場合、固定資産税の負担が大きくなる。また、農地の取得は農地法等により厳しい制限がある。住宅整備は11号で行い、農地は近隣の農家の土地を活用するように考えている。

問 泉井交流体験エリアで、宿泊付き農業体験や里山散策を行うのは、いかがか。

答 ソフト事業で日帰り型都市交流を検討する。宿泊型の体験交流施設の整備は、財政面から困難と考える。



建設工事が始まった上熊井農産物直売施設

南比企業跡群

国指定史跡化はいつ頃となるか

令和3年7月に官報告示をめざす



小鷹 房義 議員

問 町内の窯跡群はどのよう分布しているのか。

答 高野倉、石坂、大豆戸、今宿を除く丘陵部のほぼすべて、埼玉県選定重要遺跡にも指定されている東西4・5キロメートル、南北約5キロメートルである。周辺の嵐山町、ときがわ町、東松山市の一部を合わせて南比企業跡群と呼ばれる。

問 窯跡群の中で、特に珍しい出土品は何か。

答 香炉蓋状製品と陶製仏殿である。

問 町内で害獣による被害、目撃情報は寄せられているか。

答 近年は増加している。北部地域はシカ、イノシシの大型獣の被害、また、アライグマ・ハクビシンは、町内全域で見かける。

問 町内猟友会の会員数に変動はあるか。

答 会員は高齢化等の影響もあり、減少している。平成9年には31人であったが、本年度は14人である。

問 農作物の被害軽減策として、電気柵設置につ

いて補助制度はあるか。

答 町は有害獣電気柵設置事業補助金を交付している。対象者は町内で農業を営む2戸以上の農家もしくは、一定の要件を満たす農家に購入費の三分の一以内、5万円を上限としている。また、埼玉中央農協では、組合員を対象に2万円、または、二分の一以内のいずれか低い金額を助成している。町と農協との併用もできる。

問 第4次総合振興計画、第5次総合計画に基づいた、入西沼線の延伸の道路を現在はどうのように考えているか。

答 まちづくりの将来像などに基づき、事業の効果・財源・環境への影響等、総合的な観点から計画を整理する必要がある。また、数十億円単位の事業費も必要と考える。



香炉蓋状製品



石井 徹議員

財政健全化基本指針

厳しい町政運営での財政確保策は

特に企業誘致を前向きに検討していく

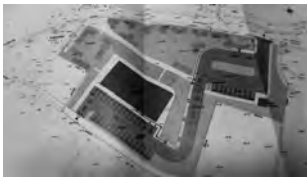
上熊井農産物直売施設、泉井交流体験エリアの指定管理者の選定は

町の活性化のため重要な役割を持つ施設であり、その運営を指定管理者に委ねるようだが、どのように進めるのか。

上熊井の施設は、検討委員会において、当初はノウハウを持った民間事業者を選定し、選考時期は令和2年6月の定例会に上程予定。泉井の施設はその後、選考の予定。(株)良品計画が同様な施設の指定管理をしているが、検討をしてはいかがか。

すぐに検討したい。財政健全化基本指針より財政確保施策について企業誘致は財源確保策として本当に有効か。(株)良品計画の配送センターの事例では、企業誘致奨励金(5年間、毎年3000万円の支出)を支払っても、令和元年度では3440万円のプラス、また児童の交通安全のための先行整備(県道整備費約9300万円

の支出)、を含めても令和5年より毎年3000万円以上のプラスであり、必要施策である。ふるさと納税で町の税収が下回る状況だが、改善対策は。予算をできるだけ上げずに、当町の知名度を上げる方法を考えていく。太陽光発電施設の建設により、町税増収になっているがどう考えるか。自然エネルギーの増大は喜ばしいが、住環境への悪影響や先行きの不安要素もあり、重要施策ではなく、結果的に増収になったと考えている。指定管理者制度とは地方自治体が所管する公の施設の管理、運営を民間事業会社を含む法人他の団体に、委託することができる制度。



上熊井農産物直売施設 平面図

国保税

均等割の引き下げを

一般会計からの繰入れが財政をひっ迫



根岸富一郎議員

国保税を引き下げて均等割が多いのでは。均等割の増額は、一般会計からの繰入れが財政をひっ迫させていること、県も応能割と応益割を50対50にすることがあった。また、平成30年度前に赤字をなくすこととした。これにより、均等割が多くなっている。均等割の減免は。県が示す基準を適用する。太陽光発電装置設置は地権者へのおどしにどう対処すればよいか。警察へ相談をすることが良いと考える。説明会はどのように指導しているか。初期段階で近隣住民等へ回覧等で周知、意見把握。計画の概要が明らかになった時点でも説明し、出された意見要望に誠意をもって対応するよう指導している。説明会へ担当職員等の出席要請があった場合には、同席し、意見等の把握、対応の考え方などを確認している。

子育て支援で町づくり子は宝です



いまの農業基盤整備は農地中間管理機構事業と従来の農業基盤整備事業の違いは何か。従来の事業は、町営土地改良事業で一般的な換地と圃場整備。農家負担は10%であった。機構事業では、借り入れた農地10ヘクタール以上を県が基盤整備を実施するもので、貸付者の申請、同意、費用負担によらない事業。中間管理権が15年以上、事業対象農地の8割以上を、事業完了5年以内で担い手に集団化することなど、採択要件が厳しいものとなっている。

常任委員会レポート

総務産業委員会

町の財政事情を調査

令和元年8月16日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

① 一般会計の地方債残高の状況など財政について

- ① 執行部からの説明で、
- ① 地方債の概要
- ② 地方交付税による財政措置
- ③ 地方債残高の推移
- ④ 地方交付税による需要額に参入される地方債について説明を受けました。

沿ったものでないと地方債の発行ができません。「学校施設の耐震化事業」などはタイムリーに発行できたことなどが分かりました。

地方債残高の推移では、平成21年度28億円台、平成30年度は64億5600万円と増加しました。

地方交付税による需要額算入される地方債では、町で発行した公共事業等債や学校教育施設等整備事業債、緊急防災・減災事業や一部事務組合が発行した地方債の町負担分があることが分かりました。

一般会計と普通会計、特別会計、企業会計の違いについて執行部からの説明がありました。宅地

造成にかかる区画整理事業費は、普通会計に入ります。

公営事業として国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計があります。

公営企業として水道事業会計があり、公営企業に近い下水道事業として集落排水、浄化槽設置管理事業特別会計があります。

福祉文教委員会

令和3年に国指定史跡化を目指す

令和元年8月8日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

① 南比企業跡群国指定史跡化について

遺跡を保存・活用するため、平成21年度より「南比企業跡群」の国指定史跡化に取り組み、令和3年7月に国の告示を目指しています。

約200年という非常に長期間にわたり、須患器と呼ばれる灰色の土器、国分寺の瓦、周辺の古代寺院等の瓦を大量に生産していたこと。武蔵国21郡中16郡名を記した文字瓦が出土していること。

律令制の成立と崩壊を物語る遺跡であること等、説明を受けました。

指定候補遺跡の規模や

年代を確認するための調査や出土遺物の整理作業、『新沼窯跡発掘調査報告書』の刊行、指定範囲の境界確定のための踏査、『南比企業跡群総括報告書』に掲載する写真図版、遺物観察表がほぼ終了しています。

南比企業跡群の特色を活かし、その魅力や価値に対する理解を深め、地域の貴重な資源として、多くの方々に永く活用していただける史跡となるよう取り組んでいくとのことでした。



昭和25年に県指定を受けた石田遺跡内

委員より次のような質疑がありました。

問 北部地域活性化事業における町道第1号線整備事業、泉井交流体験エリアと遺跡のエリアが重複しているように見える。問題点は事前にクリアできているか。

答 町道は町民の生活に欠かせないもの。遺跡を最大限保存するため、施設を文化庁等と協議した場所に配置変えをした。

問 国指定史跡化に当たって、早急に検討していく必要がある。北部地域活性化事業と、この取り組みを関連させて計画をしていくのか。

答 縦割りではなく横の連携をしながら、アピールしていくことによって、町民の方、町外の方にも南比企業跡群を知っていただくきっかけにもなる。啓発に努めていきたい。

その他、質問、要望に丁寧にお応えいただき、調査を終了しました。

一部事務組合 合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

坂戸地区衛生組合

8月6日、第1回定例会が開催されました。議案は、平成30年度一般会計歳入歳出決算認定、監査委員の選任についての2議案で、いずれも認定されました。

監査委員に毛呂山町の小峰議員が選任されました。6月の測定で「ばいじん」が基準値を超えたため、焼却運転を停止しましたが、8月には再開しています。修繕には多額の資金を要するため、今後は脱水汚泥、し渣を外部搬出により処分する予定です。

西部環境保全組合

7月3日に第1回臨時会が開催されました。議長に鶴ヶ島市の山中議員、副議長に毛呂山町の岡野議員が当選され、監査に鳩山町の小鷹議員が選任されました。

8月9日、第2回定例会が開催されました。主な議案は補正予算と平成30年度決算で、すべて可決・承認されました。組合のごみ処理実績は、家庭系ごみ3万587トン(前年度比0.24%増)ひとり1日当たりの排出量は構成市町の中で、鳩山町が一番多い現状です。

西入間広域消防組合

8月20日、第2回定例会が開催されました。副議長に鳩山町の日坂議員が当選され、監査委員に越生町の新井議員が選任されました。

提出された議案は、条例の改正が3件、補正予算1件、決算認定1件で、慎重審議の結果、原案の通り可決されました。

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

6月17日臨時会が開催されました。

議案は、条例の改正が1件で、慎重審議の結果可決されました。

組合議会議長選挙、監査委員の選任があり、議長には毛呂山町の高橋議員が当選され、監査委員は、鳩山町の森議員が選任されました。

8月22日に定例会が開催されました。平成30年度決算、令和元年度補正予算が審議され、それぞれ

れ原案通り可決しました。また、組合議会議長に越生町の宮崎議員が当選されました。

広域静苑組合

8月21日定例会が開催されました。

提出された議案は、平成30年度一般会計歳入歳出決算、一般会計補正予算、監査委員選任の3件でした。

3議案すべて可決・承認されました。また、新組合議長に越生町の木村議員、副議長に鶴ヶ島市の山中議員が当選され、監査委員に毛呂山町の高橋議員が選任されました。昨年より坂戸市が組合に加入し、坂戸市負担による環境整備、道路工事も完了した旨、報告されました。

また、斎場の利用状況については、平成30年度火葬件数は、1887件で鳩山町は155件でした。

平成30年度一部事務組合の決算状況

名称	歳入額	歳出額	町負担額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	2億6,752万円	2億4,888万円	2,459万円	6,250万円	3,001万円
埼玉西部環境保全組合	24億1,480万円	22億7,477万円	1億9,994万円	13億2,370万円	22億744万円
西入間広域消防組合	12億3,049万円	12億1,411万円	2億8,068万円	5億8,060万円	9,304万円
毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合	15億5,899万円	14億725万円	1億4,164万円	55億3,426万円	0
広域静苑組合	19億7,222万円	15億2,856万円	1,686万円	13億9,294万円	4,101万円
合計	74億4,402万円	66億7,357万円	6億6,371万円	88億9,400万円	23億7,150万円

※万円以下は四捨五入



新ごみ焼却施設の進入路

議会クイズ

●正解者の中から抽選で、お二人に**町の特産品**を差し上げます。
 ●クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

145号の当選者お二人
 おめでとうございます！
 ○大豆戸 牧山 史子様
 ○松ヶ丘 細野美智代様

★前号の答え
 ①イ ②□ ③□

（応募方法）

はがきに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入してください。
 議会に対してのご意見・ご感想などもお聞かせください。

（あて先）

〒350-0392
 鳩山町大豆戸184-16
 議会事務局クイズ係
 （締切）11月25日（月）
 （※）消印まで有効

ぜひ奮ってご応募ください。お待ちしております。

問題 1
 平成30年度一般会計歳出決算額は「〇〇億〇〇〇万円」。

問題 2
 平成30年度の地方債残高は「〇〇億〇〇〇万円」。

問題 3
 昨年からの広域浄苑組合に加入したのは「〇〇市」。

① 坂戸市 ② 鶴ヶ島市 ③ 東松山市
 ④ 50億円 ⑤ 55億円 ⑥ 62億円
 ⑦ 28億円 ⑧ 45億円 ⑨ 64億円

ご意見・ご感想をいただきました

〈傍聴アンケートから〉

（年代、傍聴回数、議会日より読んでいます）

●魅力ある鳩山町づくりについて、具体的な議論を聞くことができました。発信力のある方に期待します。（60代、初めて時々）

●議員の質問に対する執行部の答弁が長すぎる。質問や答弁にパネルを使ってはどうか。議会改革の一環として検討してはどうか。（70代以上、6回以上、毎回）

☆貴重なご意見ありがとうございました。議会運営委員会に提案してみます。

●様々なテーマが取り上げられ、議員の思いが語られています。そこには住民の思いはどのようなかわからないという面があるように感じました。住民の政治参加は重要な課題です。（70代以上、6回以上、毎回）

●滑川町と同等の支援を早急に実施していただきたい。（子育て支援・高齢者支援等）（70代以上、6回以上、毎回）

●日本全国空き家問題の対策が急務となっている。鳩山町でもその対策に尽力しているもの、

ぜひ全国にアピールできるような政策をお願いしたい。（60代、初めて時々）

〈はがきより〉

●町の行事参加について議員・行政職員がいまいちと感じることが多い。直接意見交換の場がないのは残念。（70代以上）

☆傍聴アンケート、はがきのご応募ありがとうございました。ご意見は真摯に受け止め、議会と政務活動に活かしていきます。

9月議会傍聴者数 22人

編集後記

議会は執行部の認識機関であつてはなりません。行政を手エックし、町民の声を反映させていく役割を果たすには、議員個人の資質を向上させることが重要です。

6月議会終了後、議員有志による勉強会を発足致しました。財政の諸問題、高齢化の課題など、テーマを決めて研究を進め、一般質問における質の向上や、議員発議を通じて、よりよい町づくりのための提案を進めていく取り組みです。

町民の皆さまの声を聞きながら、町に対して声を上げていく鳩山町議会にご期待をいただき、議会の傍聴に足を運んでいただきますよう、お願い申し上げます。（大賀）

第146号編集委員

- 委員長 大賀 広史
- 委員 野田 小百合
- 委員 松浪 健一郎
- 委員 小鷹 房義
- 委員 中山 明美
- 委員 関根 清隆

表紙の写真

台風19号の影響により、延期が続いていた鳩山幼稚園運動会が10月16日開催されました。園児たちの笑顔が、園庭いっぱいにあふれていました。

次回12月定例会の傍聴券の申し込み

● 申請・陳情は11月25日17時までに提出してください。

● 議会ホームページから音声配信をしています。音声配信速報版は翌日（休日を除く）から配信されます。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます

